

番号	氏名	抱負
081	加藤 元章	
082	金沢 勉	この度、初めて立候補をさせていただきます。これまで私は、技術学会での発表、論文の投稿、論文の査読等で学会に参加をして参りました。現在の日本放射線技術学会は、国際化に取り組み総会学術大会では、英語発表の演題数の増加や英語論文誌の刊行を行い、着実に歩んでいます。代議員就任にあたっては、微力ながら、この流れを一般会員に浸透させ、放射線技術の向上を目指す事で、会員の増加につなげていきたいと考えます。
083	金澤 裕樹	私は今年度から臨床の現場から教員として大学に赴任いたしました。放射線技術学会を通して、学生の教育と研究に関して、議論していきたいと思ひます。さらに、日進月歩の医療および科学の進歩の中で、基礎をふまえつつ考える力を養成したいと考えていますので、学生が積極的に参加出来る放射線技術学会を目指して活動していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。
084	川下 郁生	日本放射線技術学会と、関連学術分野の発展に微力ながら協力させていただければと思ひます。
085	川地 俊明	一昨年に引き続き、立候補致します。これまで続けてきた「初心者教育」、「人づくり」に、引き続き貢献したいと思ひます。
086	川又 郁夫	関東部会から立候補した川又郁夫です。私は新しい放射線検査及び治療をどこの施設でも高い水準で受けられることを目標に活動を行ってきました。地域での活動を行う中で全国での活動の方向性を知ることは重要であり、また地域活動においては本部の協力が必要となります。私が代議員となり地域活動での問題点を本部へ提案し、本部からの方針を地域に伝え、縦と横の連携を深め放射線技術学の発展・普及を行っていく所存です
087	川眞田 実	
088	河村 誠治	代議員に立候補しました核医学分科会会長の河村と申します。4月の総会では核医学分野の演題数増加が非常に目立ちました。これは核医学分野における日頃の研究が多く行われていることを如実にものごとがたっていると思ひます。今後はPET/CTやPET/MRIなどの新しい機器の研究が盛んになると思われ他の分科会と連携した新しい企画事業を模索しているところですが、放射線技術学の更なる発展のために伴に頑張りましょう。
089	川村 拓	今回代議員として学会活動への参画を希望し立候補いたしました。自ら研究発表や日本放射線技術学会雑誌やRPT誌への投稿などを積極的に行うことで本会を活発にするとともに、本会および放射線技術学が国内外で広く知られるような活動のお手伝いができればと望んでおります。
090	川本 清澄	放射線撮影分科会、プログラム委員および代議員として関わらせていただいた経験を生かして、当学会がさらに発展するために邁進いたします。